



Investor Day 2026

October 21, 2026

INPEXの伸び代

取締役副社長執行役員
経営企画本部長
滝本 俊明

取締役専務執行役員
財務・経理本部長
山田 大介

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記の商品が含まれますが、これらに限られるものではありません。

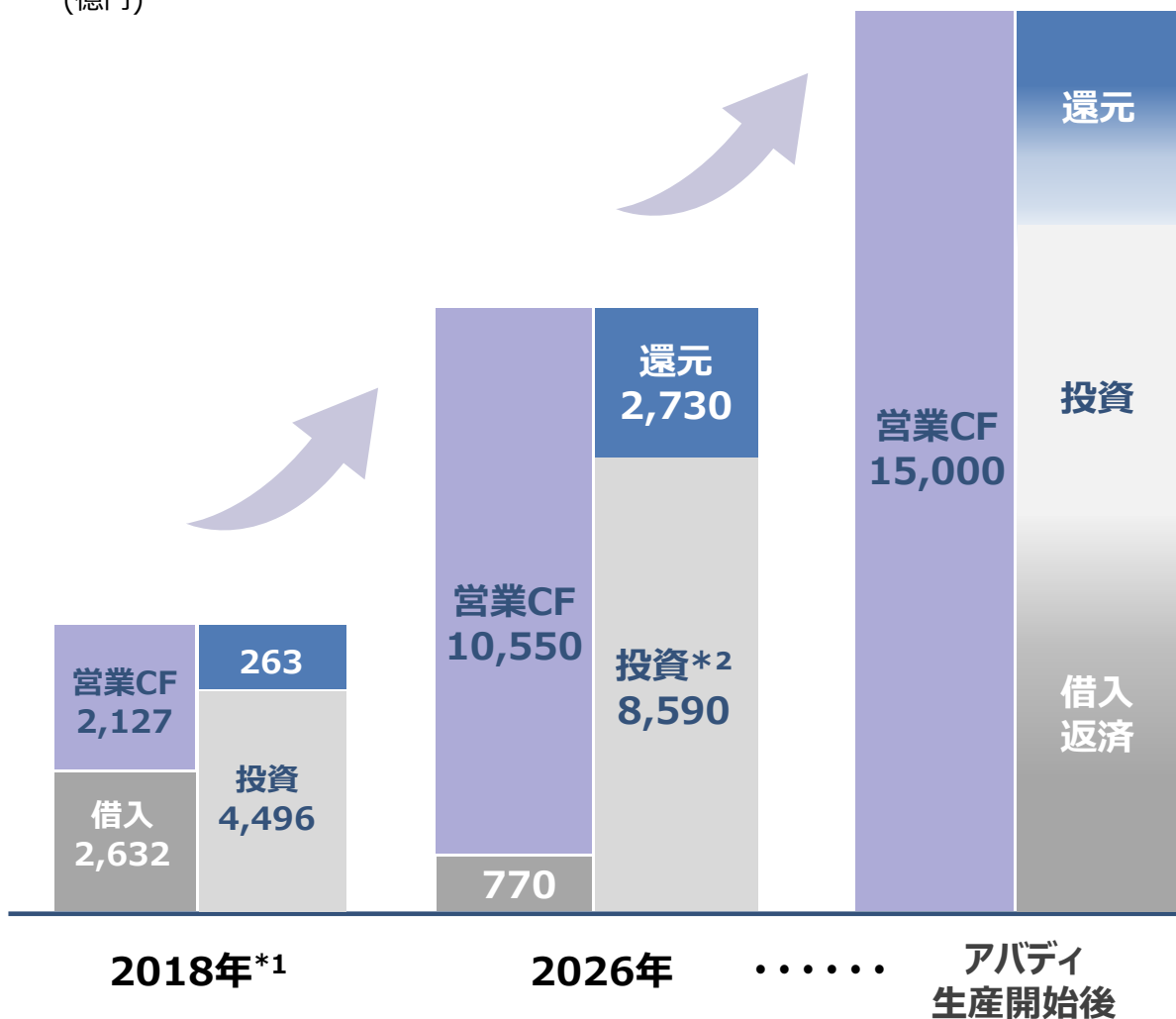
- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

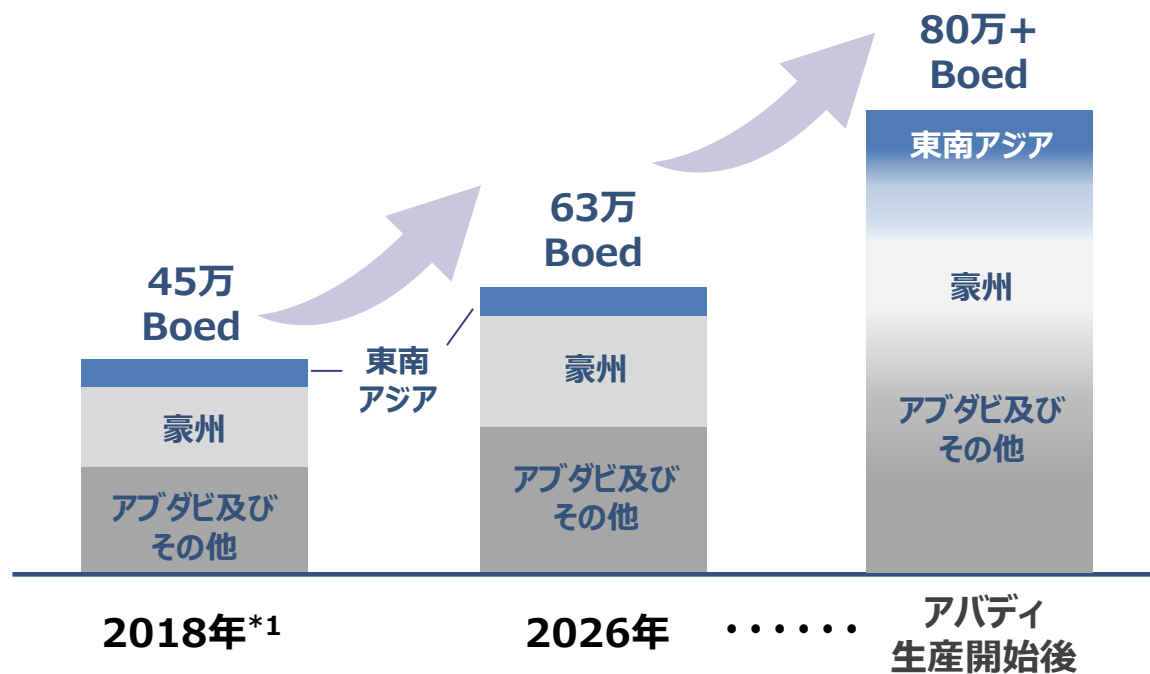
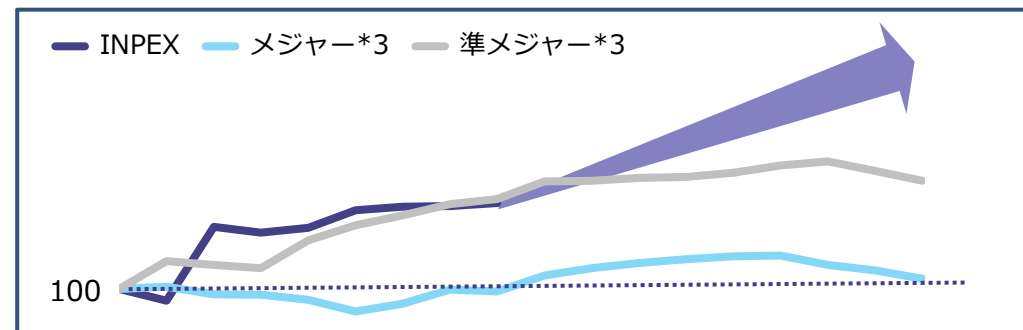
INPEXの伸び代 CF・還元・生産量におけるINPEXの伸び代

CF・還元の伸び代

(億円)



生産量の伸び代



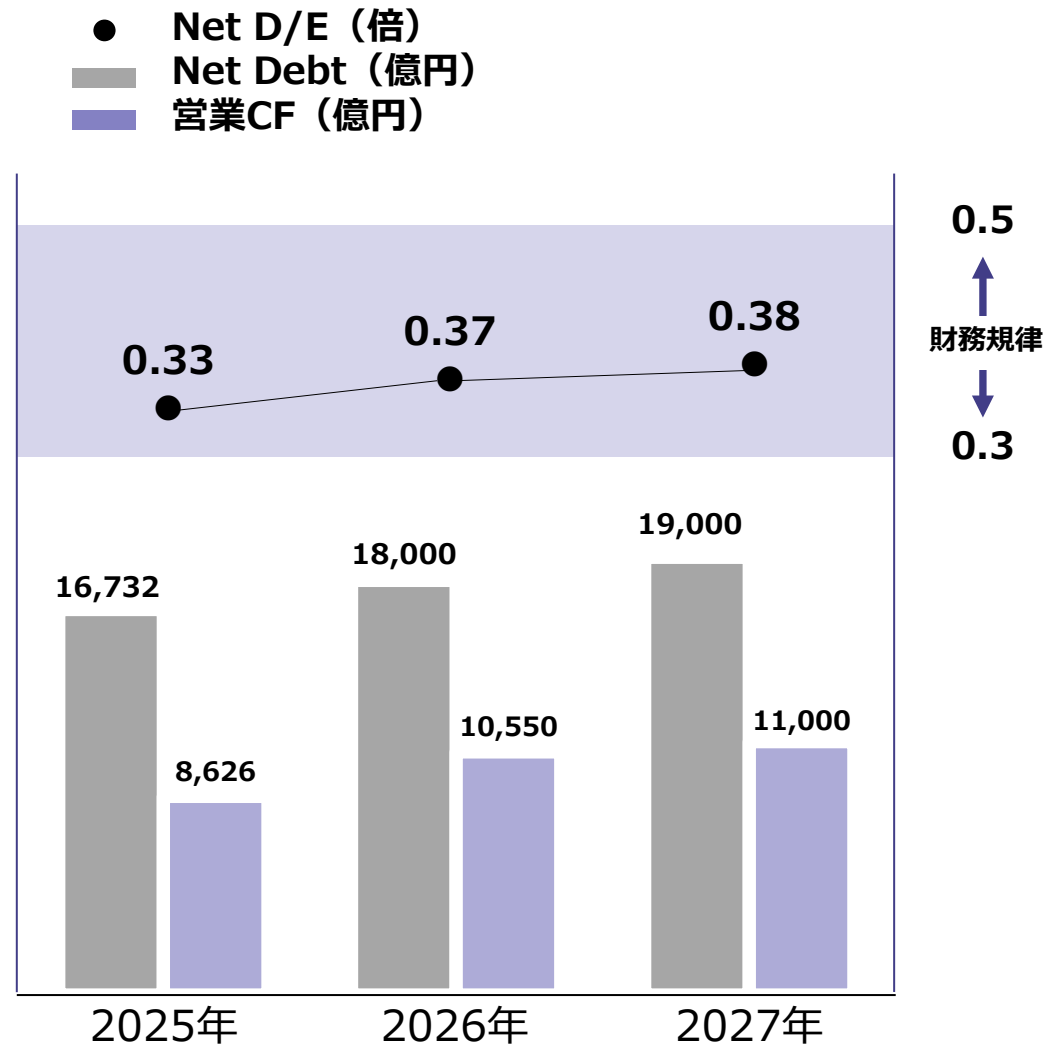
*1 イクス生産開始年度 *2 含む アバディ開発準備資金積立て *3 INPEX・メジャー・準メジャーの折れ線グラフは各社の18年の生産量を100として指数化（当社以外はWood Mackenzie Corporate Strategy & Analytics Service参照）
メジャー： ExxonMobil、Chevron、BP、Shell、Total 準メジャー： ConocoPhillips、Occidental Petroleum、Equinor、Eni、Repsol、Woodside、Santos

2025-27年中計 資金配分及びNet D/Eの見通し

資金配分



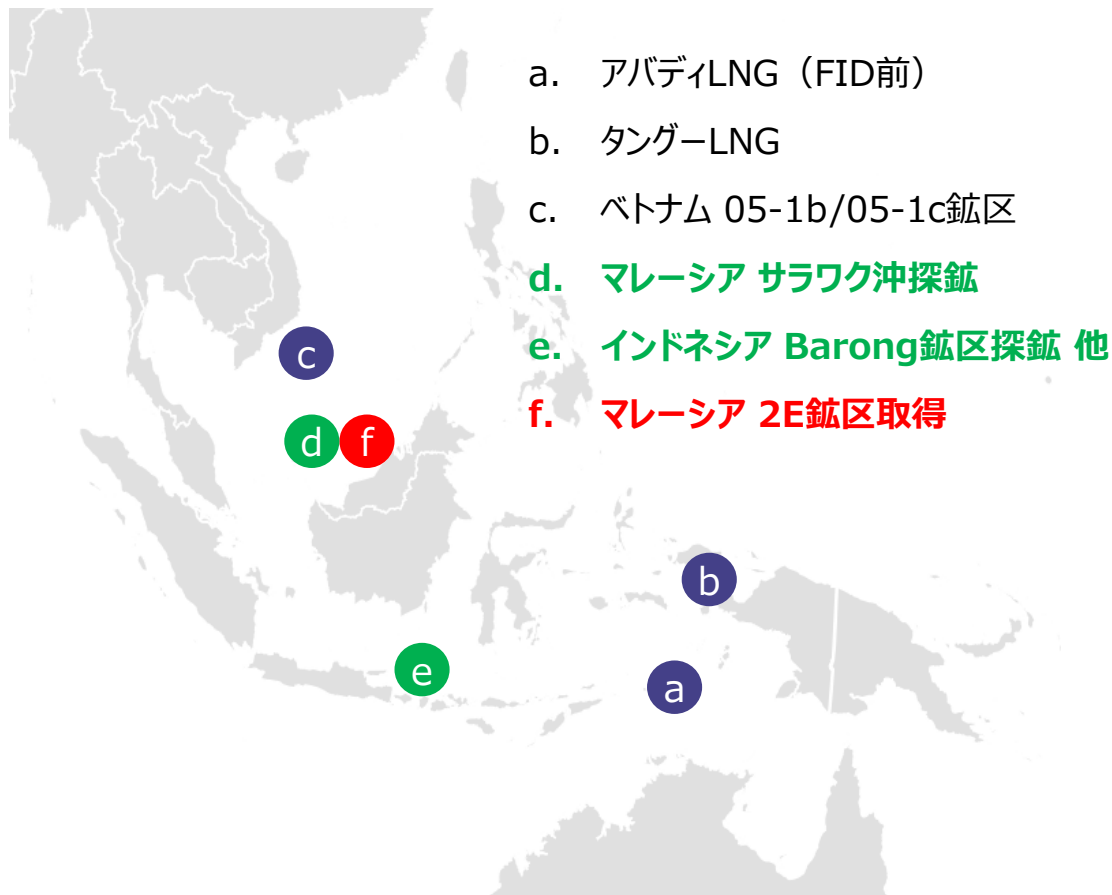
Net D/E、Net Debt、営業CF



アバディ生産開始前の成長投資：投資実績

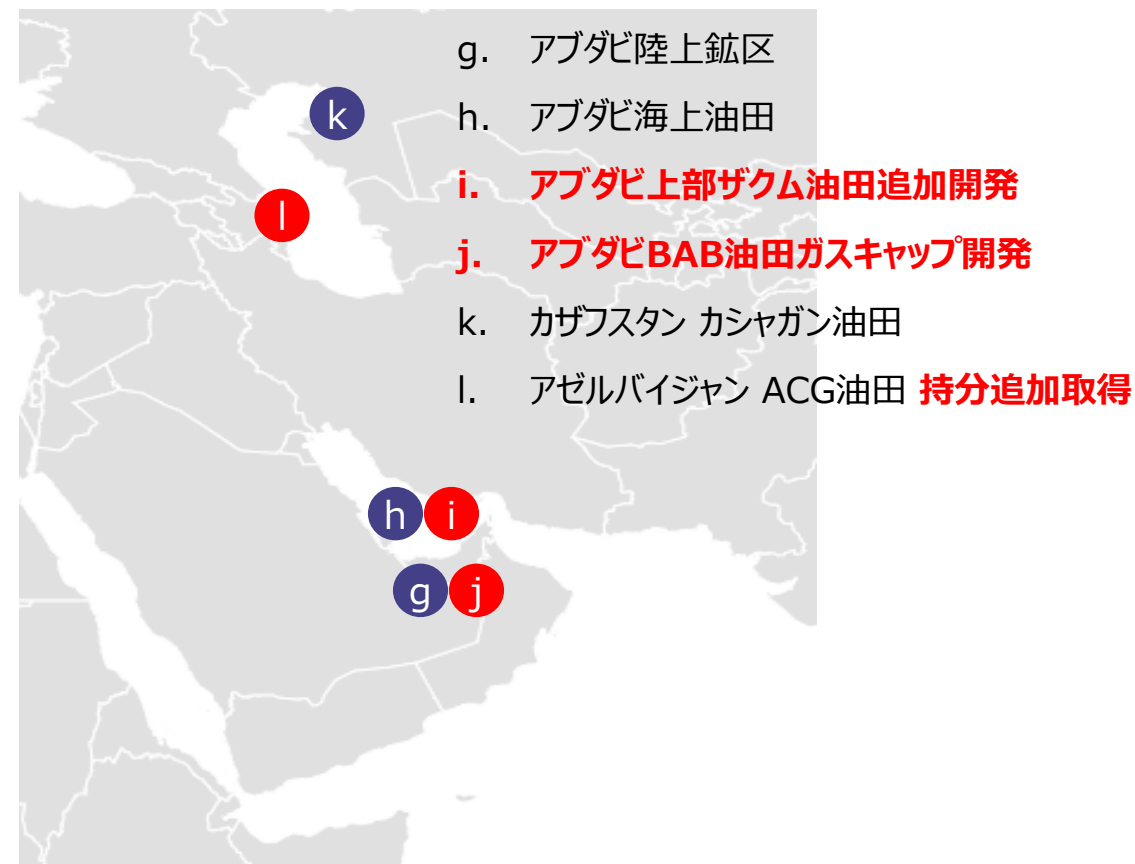
東南アジア

中・長期的に高まる域内のエネルギー需要に対応すべく、
短・中期的な利益貢献案件に加えて、探鉱活動も推進



アブダビ・NIS

既存アセットを活用し短・中期的なキャッシュ・フロー創出が
可能な案件へ投資。アブダビへの投資姿勢に変わりはない

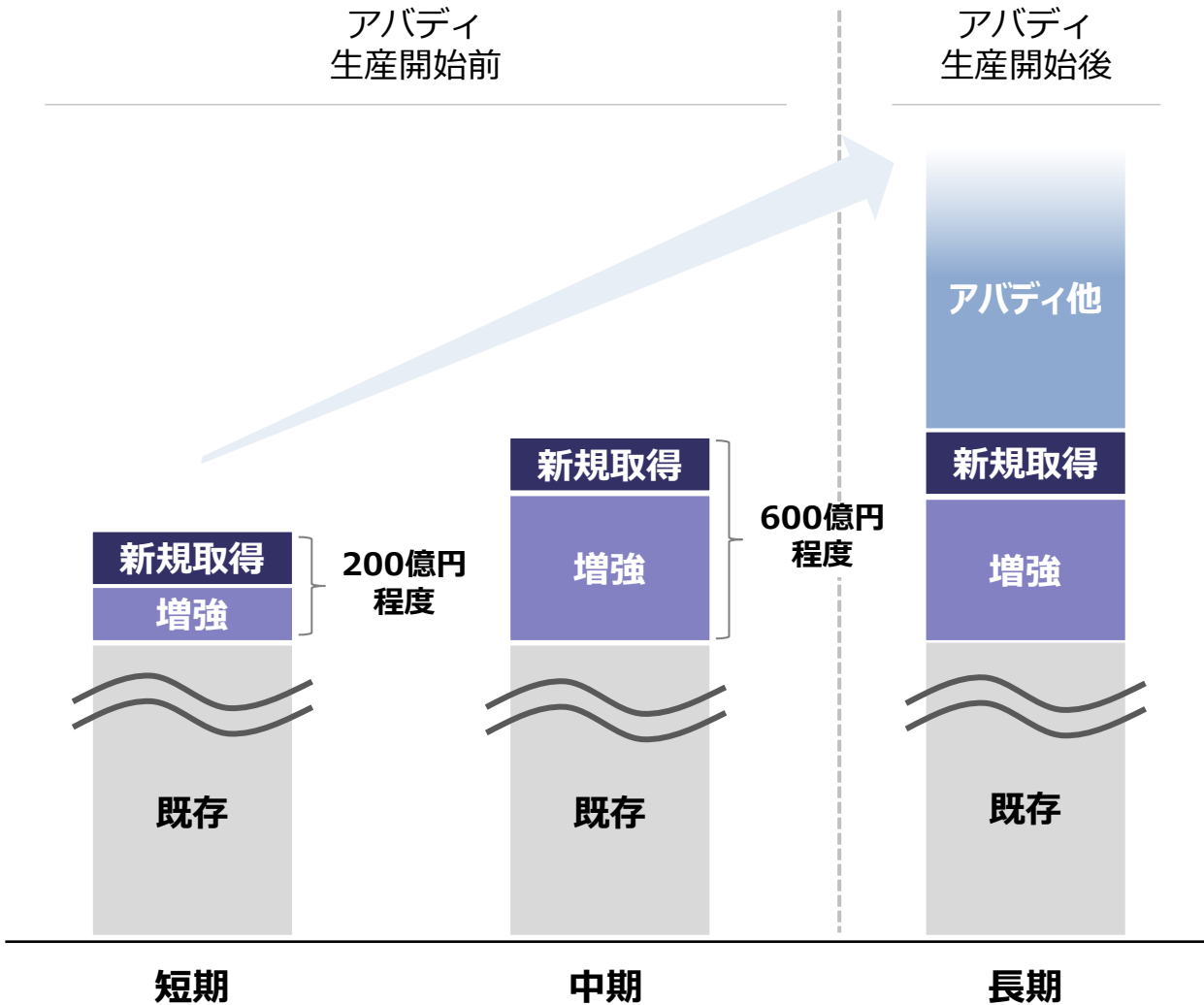


2025-27年 成長投資内訳・利益貢献開始時期

利益貢献 開始時期	区分	案件名	25-27年 投資額
短期 2026-27年	新規取得	マレーシア他	約1,000億円
	既存案件 増強	南西カスピ METI株取得	約2,000億円
		イクシス JERA権益取得	
		中東・東南アジアを 中心とする投資	
中期 2028年ー アバディ生産開始前	新規取得		約4,000億円
	既存案件 増強	アブダビ生産能力 増強投資	
		Bab Gas Cap	
長期 アバディ生産開始後	アバディ他	アバディ	約2,000億円
		Beetaloo	約1,000億円
		探鉱	
生産中 イクシス等 既存案件	既存 維持・更新等*	イクシス・アブダビ等	約9,500億円*

合計 19,500億円

成長投資の利益貢献



* 成長軸②③への投資を含む（合計で約900億円）

2025年-2033年のキャッシュアロケーション

2025-27年 年平均

還元拡充及びアバディへの準備期間

過去最大規模の還元を実施すると同時に、アバディ開発準備資金を積立て、**成長投資としてアバディ生産開始前に利益貢献する案件**にも注力

2028-30年 年平均

アバディへの投資実行と還元の両立

アバディへの投資額が増加するも、アバディ開発準備資金の取り崩しと安定した営業CFにより、**十分な還元の元手を確保**

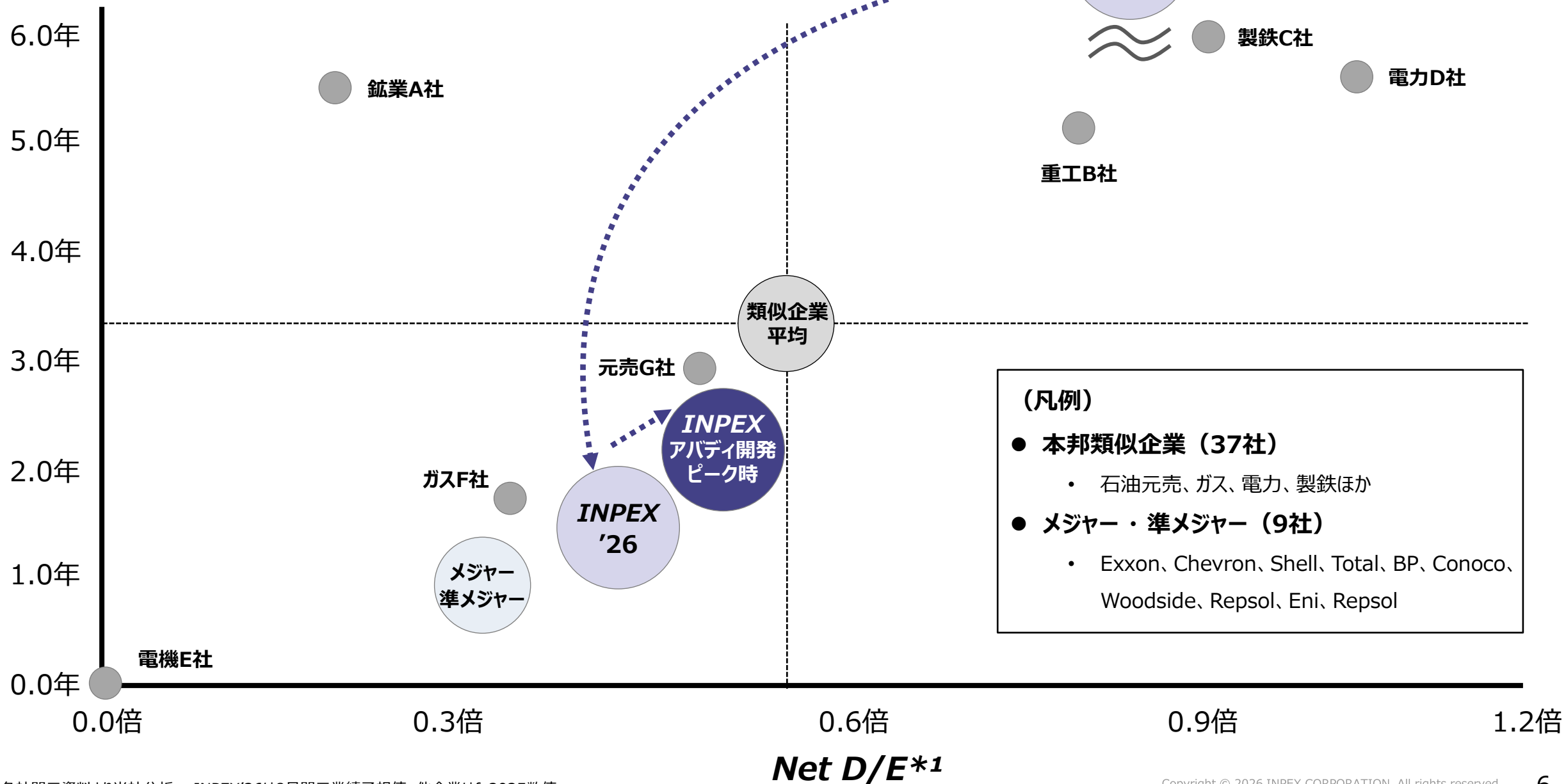
2031-33年 年平均

投資ピークアウト、財務健全性向上

アバディへの投資がピークアウト。アバディ開発により増加した借入の返済による**財務健全性向上と還元を両立**

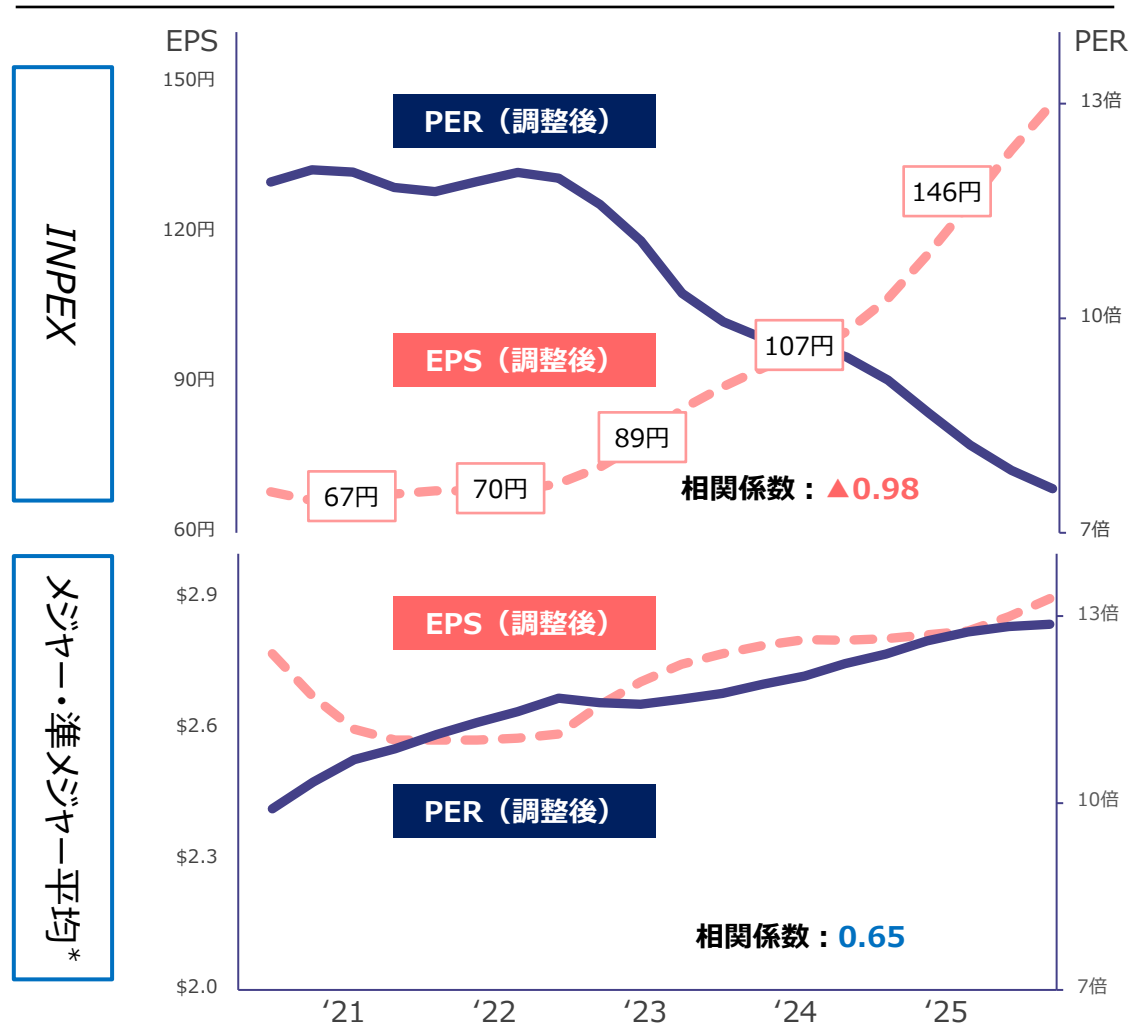
アバディ開発期間中の財務規律

Net Debt/CF : 債務償還年数*1



INPEX の市場評価は、中長期成長力が十分反映されていない可能性がある？

PER・EPSの推移



- EPS (調整後) : 10年移動平均 + Trimmed Mean (上位・下位10%除外)
- PER (調整後) : 株価 (調整後) / EPS (調整後)
- ✓ 株価 (調整後) : 10年移動平均 + Trimmed Mean (上位・下位10%除外)
- *対象企業 : EM、Chevron、Shell、Total、BP、Conoco Phillips、Woodside、Repsol、Eni

● INPEX に対する“市場評価”は、「マイナス成長」!?

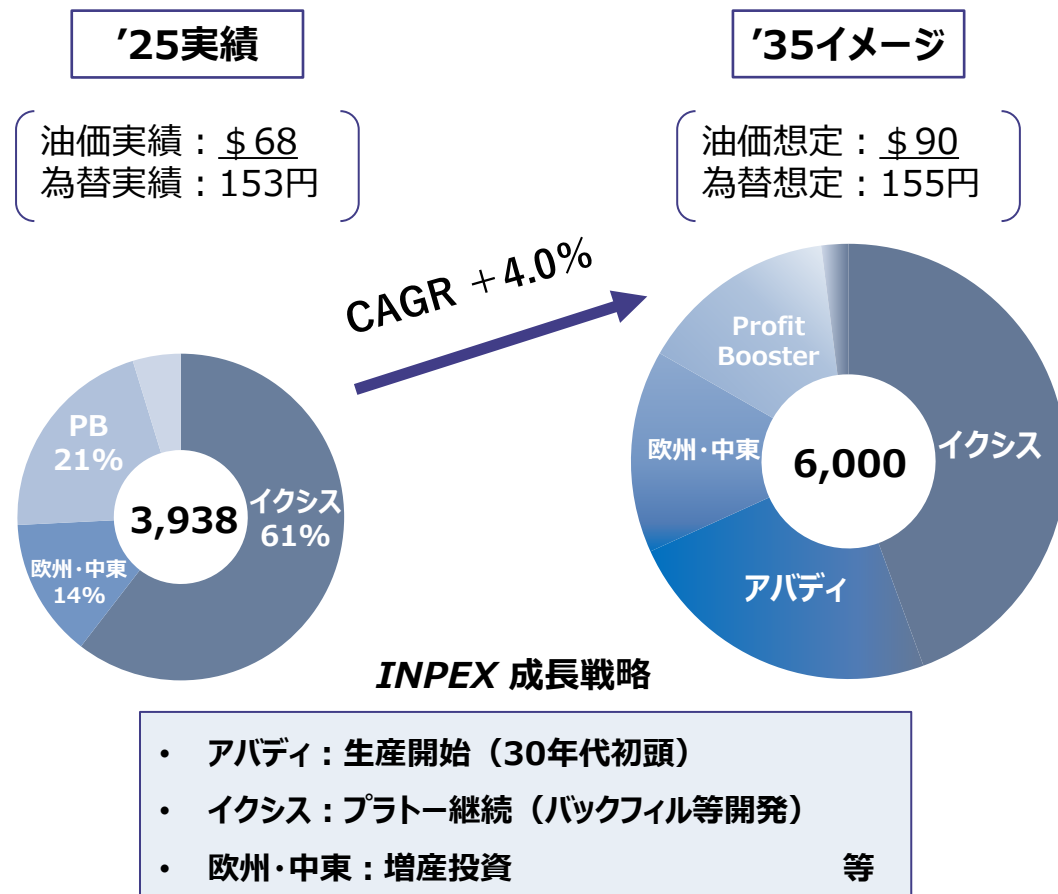
✓ **EPS (調整後)** は、上昇トレンドなのに……

- PER = 株価 / EPS = $1 / \text{市場期待収益率}$
- 市場期待収益率 = 株主資本コスト : r - 市場期待成長率 : g
- 株主資本コスト : $r = 10\%$ (市場コンセンサス)
- 市場期待成長率 : $g = r - 1 / \text{PER}$

	25実績 INPEX	25実績 メジャー・準メジャー平均
PER	9.4倍	15.5倍
株価 (25/12末)	3,127円 /株	\$51.7 /株
PBR (25/12末)	0.8倍	1.2倍
EPS	331円 /株	\$3.35 /株
当期利益	3,938 億円	88.8 億ドル
発行済株式数	11億9,000 万株	39億8,200 万株
市場期待成長率: g	$\Delta 0.59\%$	3.53%
株主資本コスト: r	10%	10%

INPEX Vision に基づく 永久期待成長率 は、3%程度 と試算

INPEX Vision : 当期利益イメージ



(参考)

- ✓ 油価は、Unit costに相関して上昇（下降）・・・相関係数:0.99
 - Unit Costは、今後インフレ率 + 【a】で上昇するものと仮定
 - ・ 【a】 : 非在来型油・ガス田の開発に伴うコスト増等

● INPEX Vision（成長戦略）が浸透すれば・・・

✓ PERは、**14.4倍**に（←9.4倍）、PBRは、**1.6倍**に（←0.8倍）

	25実績	INPEX Vision
PER (= 1 / 市場期待収益率)	9.4倍	14.4倍
市場期待収益率 (r-g)	10.59%	6.94%
株主資本コスト (r)	10.00%	10.00%
市場期待成長率 (g)	△0.59%	3.06%*1
当期利益 ('25実績)	3,938億円	3,938億円
当期利益 ('35イメージ)	3,712億円	6,000億円
EPS	331円/株	439円/株*2
株価	3,127円/株	約6,300円/株
PBR	0.8倍	1.6倍

*1 '25～'35の成長率を4.0%、'35以降の成長率を1%とした場合の永久成長率

*2 '26/8月見通し

(参考) 株主資本コストとPERの関係

株主資本コスト	市場期待収益率	PER
8% / 10% / 12%	4.94% / 6.94% / 8.94%	20.2倍 / 14.4倍 / 11.2倍

まとめ：Investor Day で お伝えしたいメッセージ

- 「市場」は、*INPEX* を“成熟企業”であると評価している可能性がある？
 - ✓ PERから逆算した市場期待成長率は、**△0.59%**
- 「我々」は、*INPEX* が、“成長企業”であることに自信を持っている！
 - ✓ *INPEX Vision* に基づく永久期待成長率は、**+3.1%**（ギャップは約4%）

当社のIRの目的は、**“4%”のギャップ**を埋めること

なぜINPEXに投資するのか？

伸び代が大きいValue & Growthな株式だから

Value

- PBRは上昇傾向にあるも、依然低位
- 過去10年間で総還元額は約10倍に増加。2026年の1株当たり配当金・自己株取得は過去最高額

Growth

- EPSは着実に上昇してきたものの、株価の上昇が追いつかずPERは依然ピア比低位

- Destination Energyである天然ガス/LNG需要の中心はアジア。当社はアバディ・イクシスを中心とした多くの域内プロジェクトを推進
- アバディ生産開始前の成長に資する投資インベントリーを東南アジア・アブダビを中心に保有。アバディ生産開始後には飛躍的な営業CF、生産量の成長を見込む

目の前に立ちはだかる世界規模の課題。
私たちは地球の力でエネルギーを創る、
チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。
絶対に使命を投げ出したりしない。
私たちはエネルギーを探し、届け続ける。
今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future